

- 期間／2022年4月1日～2023年9月30日まで
- 目標金額／3,000万円
- 種類・金額／①個人：1口2,000円 ②法人（団体・企業）：1口20,000円  
※できるだけ多くの口数でのご協力をお願いいたします。  
※1口未満など金額にかかわらずご寄附もありがたくお受けします。
- 対象者／てんかん運動に関心のあるすべての皆さん（個人・法人）

### 申込・送金方法

#### ◆銀行送金（下記指定口座にご送金ください）

<送金先> りそな銀行 大塚出張所（普）1461269  
公益社団法人日本てんかん協会

#### ◆郵便振替（郵便局備付の払込用紙に所定事項を記入してご送金ください）

<送金先> 00130-1-17523 加入者名：波の会

※「あかりちゃん夢基金」の旨を通信欄にお書きください。

#### ◆税の控除をご希望の場合は、所定の「寄附申出書」（法人ホームページからダウンロード）を下記事務局までご送付ください。

※所定の振込用紙をご使用の場合は不要です。

- \* クレジットカード・PayPay 決済（法人ホームページからお申込みください）
- \* 書類の郵送・通信料、送金手数料は、寄附くださる方がご負担ください。



詳しくはこちらから ⇒

#### ●税制上の優遇措置（公益法人への寄附）

##### 1. 個人所得税、住民税、相続税

##### 2. 法人（団体・企業）法人税（※地方税を含む）

※税の控除を受けるためには、法人発行の領収証と内閣府の証明書が必要です（税務署に確定申告）。

#### ●顕彰（寄附への感謝）

次に該当をしてご希望する皆さんのお名前を、法人のホームページに専用ページを設けてご紹介いたします。また、50周年記念大会にご招待し、記念品（非売品）を授与します。

##### 1. 個人／100,000円以上の寄附者

##### 2. 法人（団体・企業）／500,000円以上の寄附者

※個人情報：法人の「個人情報保護規程」に基づき、適正に管理します。

#### ★運動50周年記念事業：2023年度にはさまざまな活動を計画いたします。皆さんも、是非ご参加ください。

- ◆ SNSの活用と専用サイトからの情報発信
- ◆ 記念グッズの作成と頒布
- ◆ 記念大会の開催（東京大会）
- ◆ てんかんをめぐるアート展の実施
- ◆ てんかんのある人の実状・ニーズ調査の実施
- ◆ 記録集の作成・公表



てんかん運動50周年記念



あかりちゃん  
夢基金

### ご寄附のお願い



2023年にてんかん運動は発足50年を迎えます！

これからの  
てんかん運動を  
みなさんと  
支えてください！



てんかん運動マスコットキャラクター あかりちゃん

お問合せ

公益社団法人  
日本てんかん協会

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-43-11 福祉財団ビル  
☎03-3202-5661 e-mail: jea@e-nami.or.jp

公益社団法人  
日本てんかん協会（波の会）

# 「あかりちゃんの夢」を、みんなで実現させてください！

目的

てんかん運動 50 周年記念募金として、次の活動に使用します。

期間

2022(令和4)年4月1日から  
2023(令和5)年9月30日まで

1973年に、「小児てんかんの子どもをもつ親の会」と「てんかんの患者を守る会」が活動を始め、日本の「てんかん(制圧)運動」が始まりました。この二つの団体が統合をして「日本てんかん協会(波の会)」が設立し、てんかん運動を継承しました。そのてんかん運動が2023年に50周年を迎えます。

この50年間で、医療、保健、福祉、教育、雇用、人権などの多くの領域で、てんかんのある人やその家族が安心して暮らせるための社会サービス・制度も整ってきました。一方で、まだ「てんかんがある」と周囲に話すことがためられる誤解や無理解そして偏見があり、てんかんがあるというだけで社会参加が制限される場面があります。

運動50年を機会にこれまでの取り組みを見直し、これからの新しい時代にあった組織や活動をめざします。新型コロナウイルスの感染拡大や自然災害の多発など、さまざまな予測不能な事態でも対応可能な運動をめざし、ここに基金募金を行います。てんかんのある人とその家族を支えるこれからの活動を、どうか一緒にご支援ください。



気軽に利用できる  
“無料相談ダイヤル”  
をめざします。

平日の日中はいつでも相談を受けられる相談体制をめざし、フリーダイヤルやオンラインアドバイスの導入も模索します。

あかりちゃんが  
もっともっと活躍できる  
場をたくさん作ります。

てんかん運動のマスコットキャラクターあかりちゃんのチャンネルやグッズのラインナップを多く用意し、さまざまな領域から参加しやすいようにコンテンツを増やします。

情報誌「波」を  
もっと広く知ってもら  
えるようにします。

てんかん情報に加え、関係する疾患・障害、行政、海外のうごきの情報を増やし、クリニックや薬局の待合室でも検索しやすい電子情報配信にも取り組みます。

当事者の声や社会  
の実状を定期的に  
発信します。

てんかんのある人の実状やニーズ、社会がてんかんをどう理解しているか、などを定期的に調査し、当事者の声として社会に発信します。

地域支援の大切な  
社会資源として役割を  
果たします。

地域後見の組織として機能し、フィールドワーカー(地域の調整役)として、てんかんのある人の悩みをさまざまな法制度に結び付ける活動を充実します。

「てんかんがある」  
と安心して言える社会  
環境をめざします。

法人の名称の入った封筒で情報を発信したり、「私にはてんかんという病気があります」とどんな場でも安心して言えるほど、てんかんに対する社会への働きかけを強力にします。

どんな社会変化で  
も継続できる運動の  
基盤強化を急ぎます。

新型コロナウイルスの感染拡大という、未曾有の社会危機状態などでも、独自の基盤強化によって、活動が停滞しても組織を維持できるようにします。

災害時などに  
適切な情報を全国  
に配信できるしく  
みを用意します。

法人のホームページ、各種SNSの活用、緊急時使用可能なコンテンツを充実させ、常に必要なくすりや制度・サービスの情報を配信できるようにします。

てんかん版  
ポータルサイトの実現  
をめざします。

情報過多の時代に、このサイトの中にある情報が最新で正しいてんかん情報、というサイトを、行政、機関、団体、企業等の協力を得ながら、実現可能にします。

50th Anniversary

## てんかん運動はさまざまな活動を行ってきました



◀てんかん月間街頭アピール

▶面接相談



◀あかりちゃんピンバッジ

世界てんかんの日  
東京タワーイベント

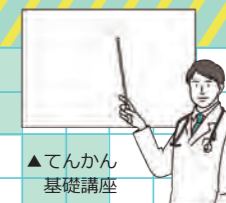
てんかん月間ポスター



▶YouTubeチャンネルにて「当事者voice」を発信



▶街頭署名活動



▶てんかん基礎講座



▶協会ホームページ



▶街頭アピール



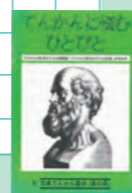
▶全国大会での表彰



▶協会主催のバザー



▶親の会通信



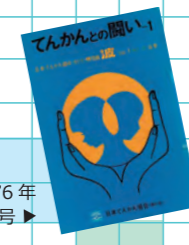
▶てんかんの患者を守る会会報



Purple Cafe  
[エアストリームガーデン @表参道]



「波」1976年発行第1号



▶現在の「波」



▶オリジナル切手



Birthday